



「ここは…？」

薄ぼんやりした思考から回復していく。

思考が覚醒と共に鮮明になると雑音、眩しい光、そして熱が伝わって来た。

「あっつ!?」

寝ていたのか、太陽の光に焼かれた地面の暑さに飛び起きた。

(ここは…?)

「君、大丈夫か？」

「この子あれじゃない？神隠しに遭ってたってゆう？」

「みんな下がって！そこ写真撮らない！」

「君？名前は分かる？」

暑い、それに聞き覚えのある蝉の鳴き声に、匂い。

「勇太…日野 勇太です。」



野次馬が囮むようにこちらを見ている。  
(オグドモンは？デビドラモン…ヴォーボモン…光は？)  
顔を上げるとそこは、見覚えのある場所だった。  
叶と一緒に来て、光と一緒に DW へ飛ばされた場所。  
日本…東京。  
「帰って来た？」

DW に飛ばされてから現実時間にして、僅か数日。  
勇太ひとりが、現実世界に帰還した。